



# なぎがまCSだより 第3号

発行責任者 西村 厚志

## 共育～健やかなこどもの成長を願って～

なぎがまCS運営委員会  
委員長 西村 厚志



「なぎがまコミュニティスクール（略してCS）運営委員会」って何？耳にする機会も少なく、まだまだ認知度が低い組織であります。育ちゆく子ども達を取り巻く環境は日々変化を遂げ、大変複雑で難しい状況であると思います。文部科学省では『地域と共にある学校づくりをしてゆこう』と提唱し、そのひとつのツールとしてコミュニティスクール（学校運営協議会制度）があります。保護者や地域住民で構成されて、知恵を出し合い、意見を反映させ、一緒に協働することで子ども達の豊かな成長を支えてゆく。

主な役割として、

1. 校長の作成する学校運営の基本方針を承認する。
2. 学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べる。
3. 教職員の任用に関して教育委員会に意見が述べられる。と揚げてあります。

1及び2に関しては今までで学校評議委員会がその役目を果たしていましたが、当CS委員会に統合し、更になぎがまCSは独自に地域と密接に関係を図ることを主とした「地域連携部」を設けています。平成24年に創設された下諏訪中学校区地域支援本部も「学校支援部」として存続しています。加えて、地域住民の皆様にも活動を知って頂くための広報活動をする「広報部」も設置しました。

子ども達の育成のために、より良い学校運営を目指して地域として積極的に関わり、支援していこう。そんな主旨で本年度から始まりました。これまでも、多くの方々からご支援ご協力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。「まちづくりは人づくり」との言葉もありますが、地域の皆様には、何卒ご理解を賜り積極的なご協力ご参加を切にお願い申し上げます。



## 家族祖父母参観日 11/20(金)

～地域の方とともに学ぶ～

今年も学年別に地域の方とともに学ぶ機会を設けました。地域の方の技やお人柄にふれながら、ときにはご家族の方も一緒に活動していただきました。子どもたちのはち切れるような笑顔も印象的でした。

### ◆1年 おり紙

なぎがまCS  
学校支援部の方々



### ◆2年 手品

下諏訪マジック  
愛好会の皆さん



### ◆3年 しめ縄作り

四王藁<わら>の会長  
宮坂光昭さん



### ◆4年 プチ救急救命士養成講座

下諏訪広域消防署より  
救急救命士の方々



### ◆5年 福祉体験～認知症～

認知症サポーター  
キャラバンメイトの皆さん



### ◆6年 御柱の話 木遣り

講話：宮坂 徹さん  
木遣り：小松直人さん

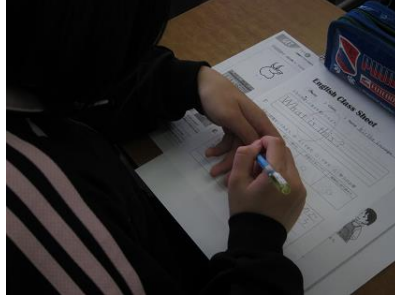


例年、中学校の教員が南小へ行って授業をおこなっていましたが、4月から進学する中学校で実施した方が気持ちも高まるのではないかとということで、今年度より実施しました。5つの教科から希望の教科を選び、授業を受けました。授業後、ある児童に「どうだった?」と聞くと、「楽しかった」という返事が返ってきました。

◆数学 正多面体の特徴を探ろう



◆英語 英語をかいてみよう



◆社会 地図帳の見方を知ろう



～地域で頑張った子ども達に住民の皆さんから暖かい言葉を頂きました～

5区 長崎 英利さん

**高**木区では、今までも生徒達が祇園祭での焼き鳥の販売を通じて地域活動を行ってききましたが、本年度は更に地域密着型の考えのもと、同じ祇園祭恒例行事のお楽しみ抽選会で、事前に景品の準備、当日の司会・進行・呼び出し・景品渡しなど、今まで役員が行っていた事を全て生徒達に役割分担を決めて活動してもらいました。生徒達からは「一人一人が自分の仕事をこなさないと先に進まないの、緊張したが責任感が生まれ楽しかった」、また地域の方々からは「元気があって良かった」などの言葉が聞けて役員として、とても嬉しく、今後に繋がるものを見つけた思いです。



10区 林 和子さん

**富**部10区は、区や分館の行事が多く行われ、地域の絆が強い事を感じます。少子化の中でも小中学生の参加が多くにぎやかにしてくれます。主な行事として、親睦運動会は多数の小学生が元気に走り、秋の若宮神社例大祭は小学生が、神輿、笠踊りとにぎやかに区を練り歩き、宵祭りには中学生が夜店を手伝い、積極的にお客様を呼び、丁寧に接客していました。小中学生が真剣に行事に取り組む姿を地域の方が暖かく見守ってゆけば、子供達はたくさんの経験を通して立派に成長して行くことでしょう。



地域連携部の活動を振り返って

なががまCS運営委員会  
地域連携部長 一村 幸正



平成27年5月21日に児童・生徒、小中学校の校長先生、担当の先生方、地域からは分館役員、青少年育成会、小中PTA支部長さん等関係団体の役員さんにご出席いただき、地域連携合同会議が開催され、地域連携部の活動がスタートしました。これからの具体的な活動の進め方について熱心に討議していただいた結果、CS活動への理解を深め、各区で行われるイベントの内容を知ることができ、大変意義深い会議となりました。

その後各区の分館長さんはじめ分館の役員の方々の積極的な生徒・児童への呼びかけにより、イベントの企画段階から参加し、夏祭りでの司会・売り子・踊り等で活躍していただき、児童・生徒の皆さんからは「やって良かった」との感想をいただきました。又、地域の役員・大人からも「今の子供はタイシタモンダ」特に中学生は今まで参加に消極的でしたが、その活躍ぶりを見直す声が多く聞かれました。その後も敬老会、正月行事等にも積極的に参加され地域の皆様方から大変喜ばれました。

以上のように初年度としては良いスタートが切ることが出来ましたが、これからは既存の行事ばかりでなく、防災あるいは福祉に対しても少しずつ目を向けていただければと思っております。この3月に役員の方の改選が行われるところも多いと思いますが、是非今年の良い成果を継続していただくようお願いいたしますと共に、子供たちに「良い思い出」を残して「下諏訪に生まれてよかった」と感じていただくためには、保護者の皆様方の地域活動への理解が不可欠です。是非ご協力を願ひ申し上げます。